

企業広告「dear my family」篇、「dear my family2015」篇が 2015 55th ACC CM FESTIVAL ACC ゴールドを受賞！

住友生命保険相互会社（社長：橋本雅博）は、企業広告「dear my family」篇、「dear my family2015」篇が、ギャラクシー賞 CM 部門 2 年連続選奨受賞に引き続き、一般社団法人 全日本シーエム放送連盟 (All Japan Radio & Television Commercial Confederation 通称 ACC) が主催する「2015 55th ACC CM FESTIVAL」において、ACC ゴールド（フィルム部門 A カテゴリー）を受賞いたしました。



■ ACC ・ ACC CM FESTIVAL とは

ACC は、より良い CM の制作と放送の実現に寄与することを目的に設立され、広告と放送に関する広告主・広告会社・制作会社・放送会社の 4 業種のメンバーで構成され、業種の枠を超えて視聴者の視点、グローバルな視野から CM の発展を推進しています。

ACC CM FESTIVAL は、1961 年よりテレビ・ラジオ CM を対象にした広告賞として開催され、名実ともに、日本最大級の広告賞として広く認知されています。

今回、フィルム部門（A カテゴリー）では、2014 年 7 月 1 日～2015 年 6 月 30 日の 1 年間に放映された CMの中から、「グランプリ（1 作品）・ゴールド（10 作品）・シルバー（15 作品）・ブロンズ（19 作品）・ファイナリスト（48 作品）」が選出されております。

■ 「dear my family」シリーズに込めた思い

「大切なご家族を失うこと」。生命保険事業の本質に関わることでありながら、これまで生命保険のCMで取り上げられることがほとんどなかったテーマに正面から向きあいました。

住友生命は、悲しみを乗り越えて明るく前を向くご家族の人生を将来にわたって守り、支え続ける存在でありたい。そんな思いを「dear my family」のシリーズに込めております。

「家族の未来に、変わらない毎日があるために。」

この言葉は、生命保険の意義・使命を表す言葉として、住友生命の社内に脈々と受け継がれている「悲しみと共に貧しさが訪れないように」という、昭和 41 年当時の社長（故新井正明）の言葉を現代的な表現にあらためたものとなっております。

この生命保険の「使命」を、「家族の未来に、変わらない毎日があるために。」というメッセージに託して、企業CM「dear my family」、「dear my family2015」を制作いたしました。

今回の受賞を通じて、あらためてお客さまがご家族への想いを深め、それを支える保険の大切さに気づいていただくきっかけになればと願っております。

CM 関連情報は住友生命公式ホームページ、公式 Facebook ページ、住友生命 YouTube 公式チャンネルでも公開しています。

- ◆住友生命公式ホームページ : <http://www.sumitomolife.co.jp/>
- ◆住友生命公式 Facebook ページ : <http://www.facebook.com/sumitomolife>
- ◆住友生命 YouTube 公式チャンネル : <http://www.youtube.com/user/SumitomolifeOfficial>

《本件に関する報道関係の皆様からのお問い合わせ先》

*CM 素材の貸し出しに関するお問い合わせ先
住友生命保険相互会社 営業総括部 営業支援室 担当：田越 和之・山本 雄貴
TEL：03-5550-5824 / FAX：03-5550-4434

■ 「dear my family」篇 CM ストーリー

ある家庭の、いつもと変わらない夜のダイニングの光景から始まります。
晩ご飯を食べている母、高校生の息子、中学生の娘。
食卓を囲みながら、適度な距離感の、気の置けない他愛ない会話が続きます。



母：ゆりー、ちょっと手伝ってー

妹：お兄ちゃん、ご飯できたよ

兄：んー

兄：これ、豚？

母：豚

妹：何だと思ったの？

兄：なんか、魚っぽくない？

妹：ほんとさ、いつも思うんだけど、お兄ちゃん、味音痴だよ？

兄：うっせーな

妹：お父さんと一緒だよ（笑）



母：明日予備校？

兄：朝からあるよ

妹：お兄ちゃん、あれ言った？

兄：あー

妹：ほら、出た



妹：まずいよね？まずくない？言わないとか。お父さん、いじけちゃうよ？

母：ちゃんと言っときなさいよ

ここで兄はそっと席を立ち、父親の写真の前で手を合わせます。



母：なんて？

兄：まあ、頑張れよ的な感じ

妹：あ、あれは？「勘弁してくれよー」は？

兄：言ってた

妹：やっぱり（笑） あれ、お父さんいつも言ってたよね。

あのときの顔、マジうける（笑）



家族のいつもと変わらない日常。そこにタイトルが浮かび上がります。

家族の未来に、変わらない毎日があるために。

■ 「dear my family 2015」篇 CMストーリー

ある家族の、ある一日の風景。

長女の結婚式の朝。出かける前の準備に追われる3人の家族。



次女：ちょっと、準備できてんの？

弟：俺？俺いつでも行けるよ

次女：ビデオは？

弟：そこ

次女：まったく！あんた、式も披露宴もビデオ係なんだからね

次女：わかってるの？

弟：わかってるよ、でも飯は食うけどね

母：お姉ちゃん綺麗に撮るのよ

弟：本人次第でしょ、そこは

母：カメラマンの腕次第でしょう

次女：ねえ



インターフォンがなる

次女：来たんじゃない？タクシー。お母さん、先出てるね

弟：やべ、忘れ物！

次女：早く！



3人が、それぞれ玄関へ。急いで靴を履きながら。

母：お父さんは？

次女：あ、離れた！

母：もう！



母が小走りでリビングに戻ってくる。

母：ごめんなさい

母、棚に飾ってある小さな写真立てを手にとって。
急いでいるとは知りつつ、少しその写真を見つめる時間がある。
独り言のように、相手がいるように写真に話しかける。

母：緊張してる？

写真を持って、また玄関に。

母：はい、お父さんお待たせ

弟：俺がお父さん持っていこうか？

母：ううん大丈夫、私がこうやって持つ

玄関の向こうの音が漏れ聞こえながら、玄関が閉まっていく。誰もいないリビング。静寂。

そこにタイトルが浮かび上がります。

家族の未来に、変わらない毎日があるために。

